

# テレワークセキュリティ アシストー押しソリューション



平成30年4月  
第4版 総務省

## テレワークセキュリティガイドライン

企業が安全にテレワークが実施できるように、十分なセキュリティ対策の方針を示す「テレワークセキュリティガイドライン」が、総務省から公表されています。

[http://www.soumu.go.jp/main\\_content/000545372.pdf](http://www.soumu.go.jp/main_content/000545372.pdf)

ガイドラインでは、以下テレワークを実現する6つの方式が示されています。

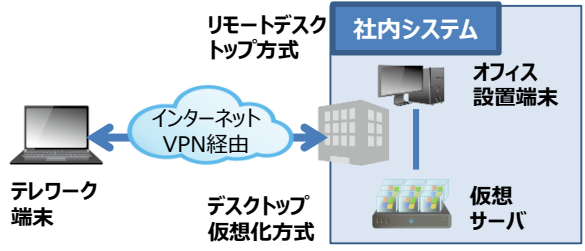
6つの方式	パターン①	パターン②	パターン③	パターン④	パターン⑤	パターン⑥
	リモートデスクトップ方式	デスクトップ仮想化方式	クラウド型アプリ方式	セキュアブラウザ方式	アプリケーションラッピング方式	会社PCの持ち帰り方式
概要	オフィスにある端末を遠隔操作	テレワーク用の仮想端末を遠隔操作	クラウド上のアプリケーションを社内外から利用	特別なブラウザを用いて端末へのデータの保存を制限	テレワーク端末内への保存を不可とする機能を提供	オフィスの端末を持ち帰りテレワーク端末として利用
テレワーク端末に電子データを保存するか	保存しない	保存しない	どちらも可	保存しない	保存しない	保存する
オフィスの端末と同じ環境を利用するか	同じ	テレワーク専用の環境(※)	クラウド型アプリに関しては同じ	ブラウザ経由で利用するアプリに関しては同じ	テレワーク専用の環境	同じ
クラウドサービスを利用するか	しない	しない	する	する	する/しない どちらも可	する/しない どちらも可
私用端末の利用(BYOD)との親和性	一定の条件のもとで可	一定の条件のもとで可	一定の条件のもとで可	一定の条件のもとで可	一定の条件のもとで可	-
高速インターネット回線の必要性	必須	必須	望ましい	望ましい	望ましい	不要

### ご提案可能パターン

#### パターン① & ② リモートデスクトップ/デスクトップ仮想化方式 詳細は裏面

クライアント仮想化を実現してクライアント依存から脱却 手軽にBYODを実現するならこの仕組み!

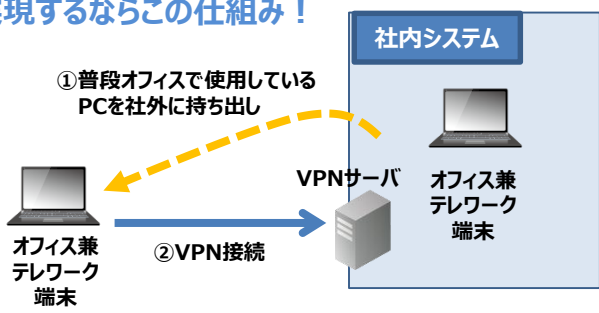
- OK**
  - テレワーク端末に**電子データを残さない**。
  - セキュリティを確保しながら**BYODを簡単に実現**。
- !**
  - テレワーク端末とオフィスを接続するインターネット回線で十分な速度が確保できなければ、操作性(パフォーマンス)が**低下する可能性**がある。



#### パターン⑥ 会社PCの持ち帰り方式 詳細は裏面

普段利用している端末を社外でも利用 最もシンプルに実現するならこの仕組み!

- OK**
  - 通信環境の依存が少なく、**安定的なパフォーマンス**が期待できる。
  - 社内オフィスと同様のPCを使用するため、持ち運び時や操作性の部分で**ストレスが少ない**。
  - Microsoftの**ライセンス (VDAやRDS CAL) が不要**。
- !**
  - 毎回オフィスから端末を持ち帰る**必要がある。
  - テレワーク端末に**電子データを保持**することが前提のため、6種類のパターンの中で最も厳格なセキュリティ対策を行う必要がある。



# パターン①② (リモート) デスクトップ仮想化方式なら



## ① リモートデスクトップ方式

簡単・安全にクライアント仮想化を実現

会社の自席PC etc



端末のブラウザをそのまま利用

キーボード・マウス情報



## ② デスクトップ仮想化方式

配信アプリケーションをしっかり管理

仮想クライアント環境

自宅のPC、タブレット etc



端末のブラウザをそのまま利用

キーボード・マウス情報

### ① リモートデスクトップ方式 (10同時ユーザ)

### ② デスクトップ仮想化方式 (10同時ユーザ)

参考価格

ライセンス料	¥223,200
年間保守料	¥40,180

ライセンス料	¥389,000
年間保守料	¥89,470

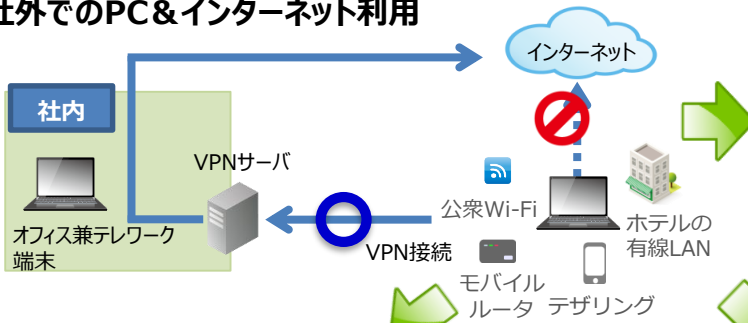
※H/W費用や構築費用は含みません。

# パターン⑥ 会社PCの持ち帰り方式なら



BlackBerry Protect

## 社外でのPC&インターネット利用



### 1. インターネット接続対策

- 社外ネットワークを利用すると、直接インターネットに接続できてしまう。社内で適用しているURLフィルタやウイルスチェックが効かない状態で、PCが危険な状況にさらされてしまうことに。
- 社外ネットワーク利用時は、VPNサーバ経由でのインターネット接続を系統的に強制させる対策を。

### 2. 盗難・紛失対策

- 電車の網棚に置き忘れたり、カフェでの席外し中に盗難にあったり、社外で仕事する場合は、PCの盗難・紛失のリスクが高くなる。
- 万一盗難・紛失にあっても、PCのHDDを暗号化することで、データを第三者を見られないようにする対策を。

### 3. 次世代マルウェア対策

- 頻繁に社外で仕事をする場合、パターンファイルの更新やOSパッチの更新が遅れ、マルウェア感染のリスクが高くなる。
- マルウェアを「特徴」から判断する、パターンに依存しない、安心で強固な対策を。

### 1. インターネット接続対策 (PC100台)

ライセンス料	・サーバなしの場合：¥300,000 ・サーバありの場合：¥1,300,000
年間保守料	・サーバなしの場合：¥45,000 ・サーバありの場合：¥195,000

### 2. 紛失・盗難対策 (PC100台)

ライセンス料	¥1,000,000
年間保守料	¥150,000

### 3. 次世代マルウェア対策 (PC100台)

サブスクリプション(1年) (ライセンス・保守込)	¥580,000
------------------------------	----------

※HW費用や構築費用は含みません。



いずれも社外で仕事をするから！

### 労務時間の適正な把握に

勤怠申請とPCの操作ログなどを突き合わせて確認することで、申請時間外のログを洗い出し、労働時間を正しく把握。



### 本人確認のための認証強化に

仮想デスクトップへのアクセスやVPNへのログインを二要素/二経路認証にすることで、本人確認をよりセキュアに実現。



超サブ  
愉快カンパニー